

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を
随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL : 099 - 213 - 1011 FAX : 099 - 213 - 1012

自民新人の金子万寿夫氏を推薦 衆院選鹿児島2区補選で鹿児島県医師連盟

鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長、約800人)は、3月27日、鹿児島県医師会館で開いた執行委員会で、徳田毅氏の辞職に伴う衆院鹿児島2区補欠選挙で、自民党公認、新人の金子万寿夫氏(67)の推薦を決めた。金子氏からは、医師連盟に対して、推薦のお願いがきていた。地方組織の指宿医師連盟は、これより以前に、民主党を離党して、無所属で立候補する打越明司氏(55)を推薦している。

この日の執行委員会では最初に、各地区の医師連盟から今回の選挙への対応を聴いた。このなかで、大島郡医師連盟からは「金子氏の立候補を全面的に応援する」との表明があり、一方で指宿医師連盟からは「前回の選挙で、打越氏を推薦した経緯や、徳洲会との問題で今回も打越氏を推薦した」と説明があった。このほかほとんどの医師連盟は「金子氏推薦」との意見だった。

池田委員長は金子氏の推薦を決断したことについて「地域医療を守り、自分たちの政策を実現するためには、政権与党である自民党や国会議員の協力が不可欠だ。今回の診療報酬改定では、参院自民党の尾辻さんが一生懸命やってくくださった。ありがたかった。徳洲会とのこともあり、熟慮の結果金子氏の推薦を決めた」と述べた。

医師連盟には、金子氏のほか、打越氏も推薦願をだしていた。また、日本医師連盟(横倉義武委員長)が金子氏を推薦したことが、報告された。

指宿医師連盟の今回の決定について池田委員長は「これまでの徳洲会、自民党との歴史もあり、地元の心情はやむを得ない。これからは団結して金子氏を応援していく」と語った。

今回の選挙には、これまでに二人のほか、共産党新人の三島照氏(72)、政治団体・幸福実現党新人の松澤力氏(31)も立候補を予定している。

補欠選挙は4月15日に告示、27日に投票が行われる。

(文責・事務局)